

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月12日

**【四半期会計期間】** 第73期第2四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

**【会社名】** リリカラ株式会社

**【英訳名】** Lilycolor Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 山田俊之

**【本店の所在の場所】** 東京都新宿区西新宿7丁目5番20号

**【電話番号】** 03(3366)7845(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役常務執行役員総務本部担当兼総務本部長 佐藤伸男

**【最寄りの連絡場所】** 東京都新宿区西新宿7丁目5番20号

**【電話番号】** 03(3366)7845(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役常務執行役員総務本部担当兼総務本部長 佐藤伸男

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第72期 第2四半期累計期間	第73期 第2四半期累計期間	第72期
	自 平成24年 1月 1日 至 平成24年 6月30日	自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 6月30日	自 平成24年 1月 1日 至 平成24年12月31日
売上高 (千円)	16,631,273	16,899,483	33,759,676
経常損失 ( ) (千円)	348,058	243,603	353,168
四半期(当期)純損失 ( ) (千円)	380,373	189,549	1,155,610
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	3,335,500	3,335,500	3,335,500
発行済株式総数 (株)	12,662,100	12,662,100	12,662,100
純資産額 (千円)	6,474,260	5,549,609	5,730,667
総資産額 (千円)	21,071,939	21,296,707	19,734,458
1株当たり四半期(当期)純損失金額 ( ) (円)	30.91	15.41	93.91
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	30.7	26.1	29.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	179,782	869,260	324,720
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	144,588	87,291	116,904
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	273,226	452,855	17,036
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,381,282	4,272,797	4,601,910

回次 会計期間	第72期 第2四半期会計期間	第73期 第2四半期会計期間
	自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日	自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日
1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	30.70	5.78

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結経営指標等については記載しておりません。  
 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
 3 持分法を適用した場合の投資利益については、子会社がないため記載しておりません。  
 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、特記すべき事項はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円安・株高基調に推移しているものの、輸出産業を除く実体経済の回復基調への足取りは明確さに欠け、欧州の金融不安や新興国の経済成長鈍化が鮮明になりつつある等、先行き不透明な状況となっております。また、設備投資についても、未だ力強さに欠ける状況となっております。

インテリア業界におきましては、重要な指標である新設住宅着工戸数は昨年秋口以降、連続して前年を上回って推移しております。

このような環境のもとで、当社の売上高は前年同期比1.6%増の16,899百万円、売上総利益は前年同期比0.6%増の4,072百万円、営業損失は199百万円（前年同期は営業損失311百万円）、経常損失は243百万円（前年同期は経常損失348百万円）、四半期純損失は189百万円（前年同期は四半期純損失380百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### インテリア事業

壁装材は、2月に装飾性を追求したハイグレードな素材とデザインを取り揃えた見本帳“ウォールデコ”を発行、3月に新築はもちろん、リフォームにもきれいに貼れるビニル壁紙100点を厳選した“らくらくリフォーム”を発行、5月に新築にもリフォームにも、住宅にも非住宅にもこの1冊で対応可能な、あらゆるニーズをカバーするビニル壁紙の総合カタログ“ライト”を発行、床材は、1月に従来の1.8mm厚、2m巾に加え、衝撃吸収性に優れた「3.3mm厚」をラインナップした見本帳“クッションフロア”を発行、2月に表面クリア層が0.4mmあり、耐久性・耐摩擦性に優れた複層ビニル床タイル“エルワイタイル”を発行した他、壁装材見本帳“V-ウォール”、“ウィル”、カーテン見本帳“サーラ”等を増冊発行し拡販に努め、売上高は前年同期比3.7%増の14,228百万円となり、セグメント損失は188百万円（前年同期はセグメント損失352百万円）となりました。

#### オフィス事業

顧客企業のリニューアル、移転等に対する投資意欲が盛り上りを見せないなか、顧客企業に対するより細やかなサービスの提供に努めましたが、売上高は前年同期比8.4%減の2,671百万円となり、セグメント損失は11百万円（前年同期はセグメント利益41百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前第2四半期累計期間末と比較して108百万円減少し、4,272百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動により使用した資金は、前第2四半期累計期間と比較して689百万円増加し、869百万円となりました。これは仕入債務の増加、固定資産購入等支払手形の増加等の減少要因はありましたが、主に売上債権の増加、たな卸資産の増加、長期前払見本帳費及び見本帳製作仮勘定の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動により得た資金は、前第2四半期累計期間と比較して57百万円減少し、87百万円となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動により得た資金は、前第2四半期累計期間と比較して179百万円増加し、452百万円となりました。これは主に短期借入による収入が、短期借入及び長期借入の返済による支出を上回ったことによるものであります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	41,000,000
計	41,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,662,100	12,662,100	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数1,000株
計	12,662,100	12,662,100	-	-

(注) 当第2四半期会計期間末現在の上場金融商品取引所は、大阪証券取引所であります。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	12,662,100	-	3,335,500	-	2,362,793

(6) 【大株主の状況】

平成25年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
豊田通商株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅4丁目9番8号	2,460	19.43
山田俊之	東京都狛江市	1,642	12.96
山田俊子	東京都狛江市	630	4.97
山田典子	東京都狛江市	504	3.98
山田雅代	東京都狛江市	503	3.97
リリカラ社員持株会	東京都新宿区西新宿7丁目5番20号	455	3.59
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	200	1.58
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1丁目1番5号	198	1.56
佐藤義仁	大阪府吹田市	128	1.01
東京中小企業投資育成株式会社	東京都渋谷区渋谷3丁目29番22号	120	0.94
計		6,843	54.04

- (注) 1 自己株式358千株(発行済株式総数に対する割合2.82%)を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。  
 2 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第三位を切捨てて、小数点第二位まで表示しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(保有自己株式) 普通株式 358,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,226,000	12,226	
単元未満株式	普通株式 78,100		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	普通株式 12,662,100		
総株主の議決権		12,226	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。  
 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が257株含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(保有自己株式) リリカラ株式会社	東京都新宿区西新宿 7丁目5番20号	358,000	-	358,000	2.82
計		358,000	-	358,000	2.82

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

### 3 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がないため、四半期連結財務諸表は作成しておりません。



1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,601,910	4,272,797
受取手形及び売掛金	<sup>3</sup> 6,194,160	<sup>3</sup> 7,218,359
商品	2,092,693	2,563,846
その他	1,345,522	1,615,212
貸倒引当金	10,633	14,997
流動資産合計	14,223,655	15,655,218
固定資産		
有形固定資産	1,622,726	1,758,567
無形固定資産	185,712	236,069
投資その他の資産		
差入保証金	2,004,482	1,934,323
その他	1,778,173	1,799,651
貸倒引当金	80,290	87,123
投資その他の資産合計	3,702,364	3,646,850
固定資産合計	5,510,803	5,641,488
資産合計	19,734,458	21,296,707
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>3</sup> 9,628,902	<sup>3</sup> 10,330,310
短期借入金	447,800	1,357,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	652,404	464,420
未払法人税等	70,989	41,724
賞与引当金	73,942	70,430
その他	860,245	1,305,924
流動負債合計	11,934,284	13,769,809
固定負債		
社債	650,000	550,000
長期借入金	695,338	578,550
退職給付引当金	395,255	387,851
資産除去債務	54,880	56,572
その他	274,032	404,313
固定負債合計	2,069,507	1,977,287
負債合計	14,003,791	15,747,097

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,335,500	3,335,500
資本剰余金	2,772,764	2,362,793
利益剰余金	409,971	189,549
自己株式	59,143	59,242
株主資本合計	5,639,149	5,449,500
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	91,517	100,108
評価・換算差額等合計	91,517	100,108
純資産合計	5,730,667	5,549,609
負債純資産合計	19,734,458	21,296,707

(2)【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	16,631,273	16,899,483
売上原価	12,582,716	12,826,961
売上総利益	4,048,556	4,072,521
販売費及び一般管理費	<sub>1</sub> 4,359,742	<sub>1</sub> 4,272,095
営業損失( )	311,186	199,573
営業外収益		
受取利息	3,326	3,075
受取配当金	2,451	2,972
不動産賃貸料	22,206	20,307
その他	13,541	8,946
営業外収益合計	41,526	35,302
営業外費用		
支払利息	25,609	26,711
手形売却損	26,941	26,966
不動産賃貸費用	19,333	18,987
その他	6,514	6,666
営業外費用合計	78,398	79,331
経常損失( )	348,058	243,603
特別利益		
投資有価証券売却益	-	81,306
特別利益合計	-	81,306
特別損失		
投資有価証券評価損	7,835	-
特別損失合計	7,835	-
税引前四半期純損失( )	355,894	162,296
法人税、住民税及び事業税	24,479	27,253
四半期純損失( )	380,373	189,549

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失( )	355,894	162,296
減価償却費	40,553	43,977
ソフトウェア償却費	22,472	33,976
貸倒引当金の増減額( は減少)	5,303	11,197
賞与引当金の増減額( は減少)	51,048	3,512
退職給付引当金の増減額( は減少)	9,357	7,404
受取利息及び受取配当金	5,777	6,047
支払利息	25,609	26,711
投資有価証券売却益	-	81,306
売上債権の増減額( は増加)	669,122	1,024,198
たな卸資産の増減額( は増加)	218,529	480,065
未収入金の増減額( は増加)	5,569	8,275
長期前払見本帳費及び見本帳製作仮勘定の増減額( は増加)	66,800	222,844
破産更生債権等の増減額( は増加)	3,917	6,413
仕入債務の増減額( は減少)	594,629	701,407
未払金の増減額( は減少)	49,095	71,557
未払消費税等の増減額( は減少)	86,402	29,314
固定資産購入等支払手形の増減額( は減少)	364,130	469,225
その他	30,391	7,405
小計	104,538	792,786
利息及び配当金の受取額	5,810	7,561
利息の支払額	27,364	28,417
法人税等の支払額	53,689	55,618
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,782	869,260
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	10,210	39,711
無形固定資産の取得による支出	2,597	990
投資有価証券の取得による支出	4,635	27,290
投資有価証券の売却による収入	-	93,187
貸付金の回収による収入	6,600	6,600
差入保証金の差入による支出	4,514	5,601
差入保証金の回収による収入	206,396	75,760
保険積立金の積立による支出	52,996	13,382
保険積立金の解約による収入	10,000	-
その他	3,454	1,281
投資活動によるキャッシュ・フロー	144,588	87,291

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	830,000	1,400,000
短期借入金の返済による支出	671,500	490,800
長期借入れによる収入	600,000	100,000
長期借入金の返済による支出	401,154	404,772
社債の償還による支出	60,000	100,000
リース債務の返済による支出	23,899	51,397
長期未払金の返済による支出	93	62
自己株式の取得による支出	75	98
配当金の支払額	51	14
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>273,226</b>	<b>452,855</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
<b>現金及び現金同等物の増減額（は減少）</b>	<b>238,032</b>	<b>329,113</b>
現金及び現金同等物の期首残高	4,143,249	4,601,910
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>4,381,282</b>	<b>4,272,797</b>

## 【会計方針の変更等】

当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更による、当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

## 1 保証債務

前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
従業員19名の銀行からの借入債務に対して債務保証を行っており、保証債務残高は15,384千円であります。	従業員20名の銀行からの借入債務に対して債務保証を行っており、保証債務残高は12,213千円であります。

## 2 受取手形割引高

前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
1,809,881千円	705,086千円

3 金融機関休業日満期手形については、手形交換日に入出金の処理を行う方法によっておりますが、平成25年6月30日は、金融機関の休業日に当たるため、同日満期手形が次のとおり期末残高に含まれております。

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	83,763千円	100,528千円
支払手形	18,031千円	20,237千円
受取手形割引高	50,000千円	32,954千円

(四半期損益計算書関係)

## 1 販売費及び一般管理費のうち主なもの

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
貸倒引当金繰入額	5,303千円	18,355千円
給料及び手当	1,060,916千円	1,107,182千円
賞与引当金繰入額	106,305千円	69,086千円
退職給付費用	56,505千円	55,852千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金勘定	4,381,282千円	4,272,797千円
現金及び現金同等物	4,381,282千円	4,272,797千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

平成25年3月28日開催の定時株主総会における決議に基づき、資本準備金を255,067千円取り崩し、その他資本剰余金に振り替えいたしました。また、その他資本剰余金409,971千円、利益準備金188,000千円及び別途積立金495,000千円により、繰越利益剰余金の欠損填補を行っております。

この結果、資本剰余金が409,971千円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額 (注)
	インテリア事業	オフィス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,715,356	2,915,916	16,631,273	-	16,631,273
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	13,715,356	2,915,916	16,631,273	-	16,631,273
セグメント利益( 損失)	352,715	41,528	311,186	-	311,186

(注) セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額 (注)
	インテリア事業	オフィス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,228,269	2,671,213	16,899,483	-	16,899,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	14,228,269	2,671,213	16,899,483	-	16,899,483
セグメント損失( )	188,366	11,207	199,573	-	199,573

(注) セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額	30円91銭	15円41銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	380,373	189,549
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	380,373	189,549
普通株式の期中平均株式数の種類別内訳(株)	12,305,491	12,304,366

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 8 日

リリカラ株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トー マ ツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 久保伸介 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 阪田大門 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリリカラ株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの第73期事業年度の第2四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、リリカラ株式会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。